

八丈町 News Letter From  
Hacijo Town Assembly

# 議会だより

No.  
**160**  
2011.10.25

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます  
[http://www.town.hacijo.tokyo.jp/gikai/gikai\\_dayori/gikai\\_dayori.html](http://www.town.hacijo.tokyo.jp/gikai/gikai_dayori/gikai_dayori.html)



八丈島 RAINBOW CUP 2011 フットサル大会 平成 23 年 9 月 10、11 日

## 目次

- 第 3 回八丈町定例議会 ..... 2
- 一般質問 ..... 4
- 本会議の質疑から ..... 8

# 第3回八丈町定例議会

町役場内の不祥事が続く中で、今町職員の体質が問われています。  
9月議会ではこれらの問題に対する再発防止策や組織の体制について、厳しい追及があいつぎました。



八丈町役場

## 問われる町職員、組織の体質

### 病院不明金をめぐって

昨年に発覚した町立病院の不明金問題については、町は被害届を提出し、捜査の経過を見守ってきましたが、企業管理者は9月1日の全員協議会でこれまでの経緯を報告した上で、謝罪しました。不明金約341万円のうち、被疑者が認めているのは27万円。

それに弁護士費用や交通費などを加えた金額を弁済することによって被疑者と示談が成立したことで、発覚時の事務長、担当係長の懲戒処分が行われたこと、残りの欠損については関係者が償うことを明らかにしました。

しかし、最近になって病院外来事務で1400万円の測定ミスが分かり、単純な入力の違いとは言えチェ



国民健康保険町立八丈病院

ック体制の不備が露呈しました。  
議会からは、金銭の管理や法律を守ることは基本中の基本、町職員の認識が甘い。監督責任もある、チェック体制を強化すべき。さまざまな管理が他の部署でも行われているのではないかと、徹底して調査すべき。再発防止を言いながら同じことを繰り返している。議会の

チェックができていないと住民からお叱りを受ける。などの指摘が続きまし

### 工事ストップ問題など

町営富士見第二団地については、工事の建築確認がとれないまま、着工したことが問題になりました。申請提出後もたびたび修正を求められ、工期に余裕がなくなり基礎工事を始めてしまったというもの。

本件発覚後、東京都庁に行った際の出張旅費は、法令を順守していれば使わないで済んだ無駄な予算であると指摘しました（山口英治議員）。

また、町全体の事業において、予算が通る前に執行している事業があるようなので、予算を通してから執行すべきであると指摘しました（奥山博文議員）。

10年くらい前にも、水道料金の不祥事が大きな問題となりました。事件が起きるたびに謝罪と再発防止を訴えながら、繰り返し返しているのは住民の信頼を失ってしまいます。新しい町長も誕生しました。

の経営感覚を取り入れて、今こそ馴れ合いの古い体制を改善すべきです。同時に議会も、追及の甘さが指摘されています。行政をチェックするという議員の基本姿勢に立ち返り、しっかりと取り組んでいかなければなりません。



八丈町役場企業課入口

### 意見書の提出

《離島振興法》の改正・延長を求める意見書

提出者・奥山博文、賛成多数で可決

### 9月定例議会主な議決事項

- 固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について
  - 専決処分事項の報告及び承認について（平成23年度八丈町一般会計補正予算）
  - 平成23年度八丈町一般会計補正予算ほか補正予算6件
  - 八丈町町税条例の一部を改正する条例
  - 土地の買入れについて
  - 中道伊郷名線道路改良工事請負契約
  - 平成22年度八丈町水道事業会計決算認定
  - ほか決算認定2件
- 《離島振興法》の改正・延長を求める意見



庁内に法制担当を置く考えはないか

答 内部統制に重きを置き対応する



山下 崇 議員

◆所要時間 13分

質問 庁内のコンプライアンス体制について問う。

今般、町行政にあつては法令に違反する行為がみられる。

地方公務員法第三十条から同三十三条までに該当する行為があつた場合、相応の処分をもつて職務の規律が保たれる。地方自治法第九十六条により認められた議会の権限を著しく侵害すると思われる事例もある。地方自治法の改正以降、国と地方の関係は、まがりなりにも対等となり、今後地

方分権はさらに進むと思われる。

地方自治体にとつては、裁量の幅が増えると同時にいつその法令順守が求められる。これらのことから、庁内に法制担当を置く考えはないか伺いたい。

答 山越 整 総務課長

組織の内部統制に重きを置き対応していきたい。

再質問 事務能力の低下を行政改革にすり替えていないか。

答 総務課長

まずは、全体的な底上げをして対応したい。

再々質問

全く議論がかみ合わず遺憾。法制担当を置かないのであれば、どのように底上げ

を行うのか具体策を示すべき。

合併処理浄化槽の普及にあたり、優先地域への働きかけは

答 側溝に流している地域、水源に近い地域にお願いしていく



奥山 幸子 議員

◆所要時間 28分

質問 合併浄化槽整備事業を進めるため、町は各地区で説明会を開いた。しかし、説明会を聞く限りでは、この事業の意義や内容が住民に十分伝わっていないだけでなく、全体的に仕組みが複雑な上に条件が厳しすぎ、現実的ではない部分が多いことがわかった。この事業を進めるために以下のような作業工程が必要と考える。

答 総務課長

職員の研修を充実することで能力向上に努めたい。

再質問

置をお願いしていく。③住民の意見を聞き、全国の市町村整備事業を実施している自治体の事例を参考にし、事業所の合併処理浄化槽整備も促進される運用方法を検討したい。

- ① 設置世帯と未設置世帯における汚水処理状況を把握できているか。
- ② 優先地域への働きかけはどのように進めるか。
- ③ 事業所で設置する場合などの負担に対しては柔軟な対応ができないか。

答 菊池良企画財政課主幹

- ① 平成21年度に全世帯の汚水処理状況を調査している。一般家庭の浄化槽設置世帯は1259世帯、単独処理浄化槽は475世帯、し尿汲み取り便屋2763世帯。事業所ではそれぞれ41、33、201という状況である。
- ② まず側溝に流している地域、水源に近い地域に設

答 企画財政課主幹

まずは基準通りに進めるが、問題が生じたら島しょの状況を考慮し、他の離島と連携して基準緩和策を検

討したい。今後は視覚に訴える方法を取り入れ、わかりやすく広報周知をしていく。

**新庁舎の集会所施設運営における運営協議会の設置を**

**答** 現在、管理運営について検討に入っている

町役場新庁舎の建設がようやく本格的に始まりました。7月の新庁舎説明会では集会所施設に関する質問と要望が多く出されました。

**質問** ①集会所施設の運営については運営協議会の設置を。

②こけら落としの準備はどのようにするのか。

**答** 菊池良企画財政課主幹

①管理運営について検討に入っている。12月までを前期とし、設計業者と町で、既存イベントや時間・曜日の整理など基本方針を決めていく。完成までの期間を

後期とし、関係団体や住民の要望が検討される組織をつくる。  
②こけら落としの準備も後期に決定される運営組織を中心に検討していくことになる。



新庁舎建設の様子

**東電地熱館の再開を**

**答** 再開に向けて取り組みたい

**質問**

福島第一原発の事故以来、東京電力の方針で八丈島の地熱館は閉鎖さ

れた。地熱館はこれまで坂上地区の観光スポットとして重要な役割を果たしてきただけでなく、再生可能エネルギー推進のモデル地区として内外にPRしてきた。再開を望むが、町の考えは。

**乙千代ヶ浜プールの再開を**

**答** 管理運営ができるよう関係者と連携し、話し合いながら進める



水野 佳子 議員

◆所要時間 11分

**質問**

乙千代ヶ浜の海水プールが今年度は休止となった。小学校のプールであった経緯から、楡立自治会や関係者の方々の熱い思いと努力で運営されてきた。今までは、地域に依存する部分が多かったが、行政と

**答** 企画財政課主幹

4月以降については、今年中に報告するという説明を受けている。町にとって必要な施設と考えており、再開に向け取り組んでいきたい。

しても町の大切な施設として、きちんとした管理体制を作り再開、存続をしてほしい。

**答** 奥山 拓 産業観光課長

今年度は、老朽化や安全管理の問題等があり、安全を重視して休止し、調査をして欲しいという自治会からの要望もあった。町としても今年度より事業主体ということで、安全管理が確保できない以上は運営をできないとの結論に達した。今後、ハード面は町、ソ

**救急医療情報キットの配布を**

**答** 高齢者ハンドブックに救急情報用紙が載っている

**質問**

緊急時に駆けつけた救急隊員や近所の人たちが迅速な処置が出来るように情報キットの配布を。高齢者、障害者の方を中心に緊急連絡先、持病、健康保険証のコピーなどの医療情報を一つにまとめ保管すると役に立つと思うが。

**答** 笹本 重喜 健康課長

4月に全世帯に配布した高齢者ハンドブックの最後のページに、救急情報用紙にあたるものが載っている。「記入したものを目のつく場所に貼っていただければ幸いです。」というか

たちでお願いしている。個人のプライバシー等の問題があるので、今後、消防や病院とも相談し、キットにいられてもらう中身、配布対象、町民周知等も含め検討する。

答 瀬筒 穰 消防長

救急医療キットがあることで、救急車を要請する時や現場での救急隊員の情報収集、町立病院への情報提供などが速やかに行えることになると考えている。救

急医療情報キットが効率よく活用されるよう、救急講習会等で広報するなど、健康課と協力して進めていきたい。



八丈町長寿ハンドブック（高齢者ハンドブック）と緊急情報（救急情報用紙にあたるもの）

結果を受け、供養橋から火葬場に入る道路脇を埋め立てている場所に、町営墓地の新設を提案する。住宅も近くには無く、道路も狭いので、拡張整備しながら、立派なメモリアルパークにしてもらいたい。

答 佐藤 真一 住民課長

当該地に係る現状の計画は、火葬場までの道が狭いことから、来年から2年間をかけて、幅員を5mから7mに拡張する予定。道路を除く部分は、火葬場の駐車面積が少ないことから、駐車場としての利用を想定している。当該地は、火葬場の道路拡張及び駐車場の利用を目的として、平成20年10月に東京都から譲り受け、10年間は、火葬場のための利用という付帯条件がついている経緯がある。従って、供養橋周辺のメモリアルパークの整備については困難である。

供養橋周辺に町営墓地の新設

答 供養橋周辺のメモリアルパーク整備は困難である



山下 松邦 議員

◆所要時間 8分

地を欲しいとの要望があった。公明党八丈支部として、全島で250名を対象としてアンケート調査を行い154名から回答を頂いた。その結果、八丈島に共同墓地があった方が「いい」と回答した方が146名で回答者の95%であった。この

仮に、新たに町営霊園に取り組むことになった場合でも、建設計画を練り上げた後、都市計画審議会に図

ることや、墓地経営等の許可申請を行う事務手続きもあり、町の施策となった場合

合も早急に進めることが出来る。来ない問題であることを理解願いたい。

永郷地区携帯電話不感地域解消実現に責任をもつべき

答 永郷地区および他の地域の不感地域解消に向け努力する



菊池 陸男 議員

◆所要時間 26分

の説明をしてきた。この度建設のアンテナタワーでは、処理場と6世帯が通話可能になったに過ぎない。26世帯全くと三根永郷を通話可能にする認識はあるか。

大賀郷・三根両永郷地区は夕陽ヶ丘からシーパークリゾートホテル付近の10数軒が携帯電話の不感地域となっております。

② NTTに永郷地区を携帯不感地域解消の「改善エリア」に指定させ、実施計画を持つこと。そのため

質 問 ① 携帯電話の不感地域解消は、汚泥再生処理センター建設の前提条件

であると考えます。永郷地区は汚泥処理場建設に当たり9項目の要望書を提出し、町も可能な限り対応すると

答 菊池良企画財政課主幹

① あらかじめ町が不感地域の解消を約束して汚泥処理場の建設を進めたことではない。携帯不感地域解消を含んだ9項目の要望

質 問 多くの人から墓

は、実行できるものか検討し、すぐにできる要望は、実現に向け取り組むと回答済である。永郷地区及び他の地域の不感地域解消に向けて引き続き努力する。

② 財源を確保しても携帯事業者が参加の同意をしなくてもは、事業が進まない。携帯事業者に不感地域解消の要求をしながら、観光・防災もからめて財源の確保を目指したい。

**答** 山下 奉也 町長職務代理者 不感地域解消に向け、共産党の力も借りて、事業者の方に積極的に運動していきたい。

**再質問** 執行部に強い決意がないと実現できない。

**答** 町長職務代理者 誠意をもって、出来るだけ早い時期に皆さんと一緒に運動を進めて、不感地域を解消していきたい。

八丈町一般廃棄物管理型処分場の運営協議会委員の構成訂正を

**答** 現場見学を念頭に置いた人数で決定した

**質問**

① 処分場運営協議会の構成を大島町と比較すると、大島町15人に対して八丈町は12人であり、住民代表を3人減らす内容である。大島町同様もしくは、それ以上にすべきだと思いがどういう見解か。その旨を一組議会で発言するか、訂正申し入れをするべきである。

② 公害発生を防止し、住民に安全安心を担保するために公害防止協定の締結を求める。

**答** 佐藤 真一 住民課長

① 工事工程に支障のない範囲で、安全を確保できる最大の人数が12名、あるいは、6名2班体制というこゝとであり、現場見学を念頭に置いた人数で決定した。  
② 一組との公害防止協定の締結が無くとも、地域住

民の健康確保と生活環境の保全を図ることは、町の使命である。運営協議会は、直接現場で確かめられる実効性を伴った会であることから、住民の安全、安心を得られるための組織として期待に応えるものである。

**答** 町長職務代理者 ① 大島と同じような部分は一組でも発言したい。8町村の町村長さんと一体となり安全なものを要望していきたい。  
② 協議会を作る方針で進めてきたので協定書は作らない。

プラザ公園計画の経緯は

**答** 平成18年から22年の基本構想・基本計画中の課題・方針に基づき計画した



岩崎 由美 議員

◆所要時間 38分

**質問** 八丈島町立公園において以下の点について伺う。

- ① 和泉親水公園について利用実績と平成22年度の維持管理費および内容
- ② ホタル水路に関する維

持管理内容および費用  
③ プラザ公園計画に関して(1)プラザ公園計画の経緯、(2)現在の計画についての詳細(3)想定される年間の維持管理料(4)計画策定にあたり実施されたヒアリングに関して実施回数、参加人数、出席した方の居住区、出された意見(5)計画の進行状況

**答** 奥山 拓 産業観光課長

① 体験農園の田植え・収穫祭で平均90名、親水公園

は保育園関係472名、小学校193名、太鼓団体144名。維持管理費は農園と公園を合わせ、シルバー人材センターに委託、年間157万3972円。田園空間整備委員会には田植えから収穫までの間、無償で伐採・除草等をして頂いている。

**答** 八洲 進 建設課長

② ホタル水路に関しては草刈り等(ちょんこめ作業所)年間36万7080円、カワニナ代50万4000円。

③ (1)プラザ公園計画の経緯は平成18、22年の基本構想・基本計画に示されている課題・方針に基づき計画した。(2)現在の計画では、背後の現況林との調和を考慮した景観整備、散策・休憩機能をはじめとした普段の生活の一部として楽しめる公園づくり、スポーツ・イベント等の多目的空間の確保、災害時の避難公園となっている。(3)ホタル水路と比較した場合、単純に面積比で考える

と、約320万円がかかる。  
(4) 3回のヒアリングを実施。各回、住民側から4名、行政側から5名参加のべ27名参加。要望として、屋根付きゲートボール場、室内サロン、貸し農園・体験農園、人工芝サッカー場、公園・園地、墓地、住宅、老人ホーム等の意見があった。(5) 平成23年1月事業計画策定業務完了、同年6月自然環境調査完了、同年7月実施測量契約。

**再質問** 周辺に都市公園が少ないので、多目的なおかつ防災機能をもたせたグランドゴルフ場をメインにした都市公園という現計画は、事業費3億5000万

円、年間維持費数百万円の公園として正当性が感じられない。「観光や地域振興に寄与する公園として整備する」として都市計画審議会では認可されているが、報告書で「観光」を削除していることは審議会で認められているか。1日30人という利用推定人数は妥当な数字か。社会資本整備総合交付金事業による「都市公園計画」として策定されているが、本交付金は当初検討されていた「市民農園整備事業」等も対象にならないか。

**答** 建設課長 「観光」を削除したという認識はない。利用推定人数は植物公園の面積と利用

人数からの推定。当該事業は市民農園整備事業の対象にならない。しかし、市民農園はぜひ実行したいと考えている。市民農園なら利用料を徴収できるので、維持管理費をまかなえる。

**底土海水浴場の監視体制は**  
**答** 水難事故の救助員の業務というよりは、水難事故予防の業務が主体

**質問** 去る8月19日、底土海水浴場で水難事故が発生し、大変残念なことに事故に遭われた方は翌20日に亡くなった。現在、底土

海水浴場の監視体制はどのようなになっているか。

**答** 奥山拓 産業観光課長 7月16日～8月31日の間、8時30分～17時に2名の監視員が常駐。7月21日～8月27日は八丈島警察署の応援協力で2名が増員され4名体制。業務内容は危険区域にブイと赤旗を設置して危険境界線ブイの監視業務。マイク等でよびかけ注意を促す。海況に応じた旗の設置、海水浴客の外傷の応急処置などを行う。水難事故の救助員の業務というよりは、水難事故予防の業務が主体。

**再質問** 現状の監視体制

では、救助活動はできない。専門のトレーニングを受けた監視員を常駐させるべきと考えるが。

**答** 産業観光課長 ライフセイバーの採用ということに関しては即答できない。現在、町では29名で構成される海難救助隊に救命具の確認、救助・捜索活動業務を委託している。

来年から採用する監視員には、これまで実施していなかったAED等の受講による資質の向上を。またボートのような救助用備品を装備して初期活動の充実をはかりたい。

### 第三回 定例会の 質疑から

#### 富士野球場人工芝撤去費 算出根拠は



廣江才議員

富士野球場の人工芝撤去費7000万円の平米数、見積もりは何社から取ったか、算出根拠

#### 佐々木眞理企画財政課長

は。概算を出しているのは1社、業者決定は指名競争入札という事で数社から見積もりを出させて行っている。その設計業者は、人工芝の処分費がいくらであるか数社から見積もりを取っていると思う。コンクリー

#### 3200万円。

#### 全国離島交流中学生野球 大会に向けた整備は



菊池良議員

来年八丈町で行われる第5回全国離島中学生野球大会に向けた南

原野球場、富士野球場の整備は間に合うのか。大会として大きくなるため、八丈町をあげての受け入れが必要になるが町の考えは。

### 福田高峰教育課長

八丈町では、南原野球場、富士野球場、富士中学校の使用を予定している。富士グラウンドの人工芝張替は平成23年度中に行う。それ以外は平成24年7月位までの実施を考えている。整備は間に合う予定。町組織として職員15名のプロジェクト

### ふれあいの湯のロッカー修繕を

#### 菊池睦男議員

ふれあいの湯のロッカーが老朽化している。また、鍵が半分以上付いていないが対応は。

笹本重喜健康課長 鍵を持ち帰る方が多いので張り紙等で周知したい。鍵の交換は見積もりを取得中である。老朽化に関しては現場確認後対応したい。

#### 水野佳子議員

トチームを立ち上げた。今年行われた上島町での大会を視察、現場で見てきたことを八丈町に当てはめ、バス、宿泊の問題など諸問題に対して担当を決めて対応したいと考えている。上島町では職員200名のほとんどが従事、その他商工会、野球連盟、体育協会、観光協会など町をあげて大会を支えていたので、八丈町も関係機関に協力をお願いして実施したい。

何年も前から中之郷、末吉の温泉でもロッカーの鍵が使用できないと聞いていた。定期的な見回り修繕にあたられたい。  
健康課長 3カ所分、鍵の見積もりを取得中である。老朽化については見回り後対応する。



#### 長戸路義郎議員

鍵は受付で一人一人に渡し、帰りに回収するように改善すべき。

### 東日本大震災における被災者の受け入れ状況は

#### 山下崇議員

島に避難している子供たちは、内部被ばくの検査を県内にいけば受けられるが、避難先でも受けられるような対応を。  
山越整総務課長 即答が出来ないので検討する。

#### 奥山幸子議員

町として被災者を受け入れる事業を始めたが、現在の被災者の避難者数、就労状況は。被災者が孤立しないために、声掛け、イベントなどへの参加呼びかけが必要では。

総務課長 現在の受け入れ状況は6世帯、15人。就労状況は年金生活の方、地域の方へのマッサージ等で生計を補っている方、福島での仕事が続いている方などがいる。坂上の町営住宅を中心に入居していただいているが、地域の方々にお声掛けを頂いている。町としては電話連絡。体調の悪い方については保健師も対応に

あたっている。今後はNPOを通じて定期的な声掛けを組み入れたい。

### 町営住宅入居条件に合わなくなった世帯への対応を

#### 奥山博文議員



町営住宅において、3人で住まなければならない所に1人で住んでいるなど、入居後本人の場合で条件が合わなくなっているか。条件が合わなくなっても入居している世帯があると聞いているが。

和田一宏建設課主幹 確かにそのような世帯もあるが、町営住宅は住まいに困っている方が入居しているので、話はするが無理に退去はさせられない。その方々の暮らしぶりを見ながら進めていく。

#### 奥山博文議員

将来、子供が島外に転居する。世帯員が死亡する等の事柄が発生し条件が合わなくなることがある。他の

町営住宅の単身者用の部屋に移動してもらうなどの努力を。

建設課主幹 条例の中に「お互い入れ替わることが相互の利益になれば入れ替わり可能」と条文があるので、条件に合わなくなった世帯には、条件に合った住宅の斡旋を實行したい。

### 八丈町の入札落札率が100%に近いが疑問を感じないか

#### 山口英治議員



中道伊郷 名線道路改良工事請負契約の落札率は。

佐々木眞理企画財政課長 98・6%。

#### 山口英治議員

国、他市町村と比べ八丈町は落札率が100%に近いが、疑問を感じないか。

#### 企画財政課長

島の資材等の価格等もあり、ある程度高くなるのはしかたがない。きちんと積算した結果である。

## 町ナビ

紀伊半島沖を震源としたマグニチュード8の大地震発生を想定した八丈町の防災訓練が10月5日、三根地域を中心に開かれた。今回のテーマは「津波から逃げる」。海岸線に住む住民の避難訓練のほか、福島県相馬市からの避難者で、3月11日の東日本大震災によって家屋や家財をすべて流された高橋勝美さんにも話を聞いた。高橋さんは「忘れ物があると家に帰った人がみんな流された」と、災害時には命を最優先に行動することの大切さを訴えた。



## 編集後記

今年もあと2ヶ月を残すだけとなりました。3月11日の東日本大震災と原発事故が衝撃だったのに加え、台風の多かった9月には紀伊半島を中心に豪雨による河川の氾濫が甚大な被害をもたらし、今年はまさに災害の年でした。とくに、原発事故については被害の程度も復興までの時間もわからないまま越年となりそうです。改めて防災の大切さを感じています。

8月には浅沼町長が任期を残して急逝し、9月に町長選が行われました。新町長が誕生し、八丈町もあたらしい体制で動き出すこととなります。八丈町議会も気持ちを引き締め、議会の役割を再認識し、執行部と対峙しなくてはなりません。12月議会ではどのような議論ができるのか、住民の期待に応えられる議会になるよう、つとめていきたいと思えます。 奥山幸子

発行人 八丈町議会議長 小沢一美

編集 議会だより編集委員会 委員 山下崇 岩崎由美 水野佳子 奥山幸子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷2345-1 tel 04996-2-1121 fax 04996-2-5575